

< 運営推進会議における評価_様式例 > ※公表用

【事業所概要】

法人名	社会福祉法人 協同福祉会	事業所名	あすならホーム西の京 看護多機能型ケアホーム
所在地	(〒 630 - 8043) 奈良県奈良市六条 2 丁目 20-67		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

あすならホーム西の京看護多機能では、10の基本ケアを基に介護を実施しており、介護方法がきちんと確立されている。自立支援の考えを念頭に置きながら、訪問、通い、泊り、看護の4サービスを1つの部署で包括的に実施している。

また、法人の理念で「大切にしたい7つのこと」のうち、喜びの共有は特に力をいれており、企画などをして利用者さんにも喜んでもらえるように工夫をしている。その様子を写真で残し（許可の頂いている方のみ）、家族さんとも共有をしている。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2024 年 6 月 27 日	従業者等自己評価 実施人数	(10) 人	※管理者を含む
----------------	--------------------	------------------	----------	---------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2024 年 7 月 27 日	出席人数（合計）	(14) 人	※自事業所職員を含む
出席者（内訳）	☒ 自事業所職員 (5 人) ☐ 市町村職員 (0 人) ☒ 地域包括支援センター職員 (1 人) ☐ 地域住民の代表者 (0 人)			

	☐ 利用者（　　人） ☒ 利用者の家族（　7　人） ☒ 知見を有する者（　1　人） ☐ その他（　　人）
--	--

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目		前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価
Ⅰ．事業運営の評価 （評価項目 1～10）		企業の理念が明確にあり、職員育成計画も作成されている。しかし、多職種で連携していく上での情報共有が不十分な時がある。介護ソフトや書面、口頭での申し送りを徹底し改善していく。	介護ソフトを利用し、情報の共有を進めた。 また、ソフトだけではなく、口頭や、紙による共有など工夫をしている。	共有していただくことで、申し送りもできていると感じる。ご家族様からは、本務の介護に専念できるように IT 化が進むことを希望します。という意見をいただいた。
Ⅱ．サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 （評価項目 11～27）	「通い」「訪問」「泊り」「看護」のサービスを活かしながら、在宅生活を支えるサービスを提供出来ている。 多種多様な医療依存がある方が利用するため職員のスキルアップが重要となる。 振り返りや研修会を実施していく。	毎月の部署内の会議を通して、利用者さんの状態変化に柔軟に対応している。	利用者側の要望を可能な限り聞き入れている。継続してほしい。 また、さらなるスキルアップをお願いしたい。
	2. 多機関・多職種との連携 （評価項目 28～31）	退院時などはカンファレンスに参加し連携が出来ている。緊急時の対応はかかりつけ医によるところが多く、往診の可否によって対応を変えている。今後もかか	退院時にカンファレンスなしで退院を進められる HP も中にはあるものの、こちらからカンファレンスの依頼をさせていただき、実施をしていただいている。主	引き続き、多機関、多職種連携をとっていただき支援していただければと思います。

		りつけ医と連携しながら対応していく。	治医のドクターにも、日頃から利用者の状態などは報告し、共有をすすめている。	退院時に、安心して利用できると感じられる話し合いが行われた。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)	地域住民や機関に情報の発信や学習会を実施しているが、一部の職員しか対応していないため、知らない職員も多い。今後は職員にも周知や担ってもらう仕組みを作っていく。	事業所で実施している地域の方向け学習会では、数か月前に入社した職員を育成のため報告者として参加した。	地域住民との情報交換や発信など積極的に行っている。継続して行っていたらと思います。 近隣事業所に負けないように特色ある介護を願います。
Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)		サービスを導入することで利用者さん家族さんが安心を得られていることを職員たちが実感できている。今後はより多くの方に安心してもらえるように取り組んでいく。	送迎時や、モニタリング、学習会に参加してくださった家族さんからいただいた意見などを職員間で共有し実感できるように進めている。	報告も丁寧で安心してお任せができます。 今後も意見を共有し、運営していただければと思います。

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目		評価結果	改善計画
Ⅰ. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)		良好な職場から質の高い介護が生まれる。個人情報の問題があるので、職員での共有は大変と思います。良い方法を見つけて実践していただければ嬉しいです。 継続して行っていただけたらと思います。	運営推進会議での意見や、内容など参加している職員だけではなく、他の職員にも共有することに取り組んでいく。
Ⅱ. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	今までのように今後も、継続して行っていただければと思います。	「通い」「訪問」「泊り」「看護」のサービスを活かしながら、在宅生活を支えるサービスを提供出来ている。 利用者さんの状況に応じて、ケア会議を開き、サービス内容を見直し支援を進めていく。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	継続して行っていただけたらと思います。	看護多機能だけではなく、医師、薬局や福祉用具など多職種と連携し、在宅サービスの支援を進めていく。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目 32～41)	参加者が増えて良好と思います。 サロン活動に参加されている方からポジティブな意見を多く聞きます。また、包括からご紹介させていただいており、外出のきっかけづくりやひきこもり防止の支援につながっていると思います。	地域の方とのつながりを大切に、毎月0と5の付く日にサロン活動を実施しているため、継続して行う。 また、毎月地域に出向き学習会を行う。
Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)		引き続きご支援いただけたらと思います。	前回同様、サービスを導入することで利用者さん家族さんが安心を得られていることを職員たちが実感できている。引き続き今後もより多くの方に安心してもらえるように取り組んでい

		く。
--	--	----

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表 [事業所自己評価・運営推進会議における評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
Ⅰ 事業運営の評価【適切な事業運営】							
(1) 理念等の明確化							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている	2	8			よくできている。継続して行っていたらと思います。	✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」 ✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」 ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 10の基本ケアを通し、介護職員看護職員で個別対応にも取り組んでいる。					
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している	4	6			継続して行っていたらと思います。会議の回数が多くなり大変だと思いますが、よろしくお願いします。	✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 2か月に1回の職員全体会議や、毎月の部門内の会議を通して、共有している。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	およそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
(2) 人材の育成							
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している	3	4	2	1	職員間の風通しがよいと感じます。 中長期的とは具体的にどれぐらいの期間であるのか気になりました。→1年に2回。上期、下期に分けて実施。	✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します ✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」 ✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 職員面談し、目標の設定を行い、計画の作成を行うが、一方で関わりが少ない職員は分からないと回答している職員もいた。					
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している	2	7	1		研修の時間をとることはなかなか大変だと思います。実践に活かせる研修を見極めて参加されると良いと思います。 例えばどのような研修を行っておられるのか？→感染	✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 法人内は研修を実施し、法人外は参加をしている。特に法人内は積極的に行っており参加する機会が多くある。一方で法					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		人外の研修は参加する職員が全員はなかなか実施できず、参加に偏りがでてしまうのが現状となっている。				症対策に関することや、個人情報。また災害時の対策、行動、認知症ケアに関することなどなど幅広く行っている。	
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている	7	3			継続して行っていたらと思います。	✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します ✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます
[具体的な状況・取組内容]							
ケア会議を定期的に行ったり、介護ソフトを利用しながら共有ができています。							
(3) 組織体制の構築							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提	3	3	2	2	意見は反映されていると感じています。	✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	供等に反映させている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 運営推進会議に参加している職員は、反映をして実施している。という認識だが、一方で参加がなかなかできない職員は、どういう内容か分からないという意見があった。				今後も運営をよろしく願 いいたします。	を評価します
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くこと ができる就業環境の整備に 努めている	8	2			明るく仕事をされている姿 で環境を整える努力をされ ていると感じる。 とても良いと評価します。 今後も運営をよろしく願 いいたします。	✓ 「職員が、安心して働くことので きる就業環境」の充足度を評価し ます ✓ 例えば、「職員の能力向上の支 援」、「精神的な負担の軽減のため の支援」、「労働時間への配慮」な どが考えられます
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> きちんと休憩が取れていることや、急な 休みの場合でも、他の職員でフォローし 合えている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
(4) 情報提供・共有のための基盤整備							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている	6	2	2		よくできていると思います。利用者として満足している。介護ソフトの内容を知りたい。	✓ 「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の2つの視点から、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 介護ソフトなどを使用し、共有している。					
(5) 安全管理の徹底							
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている	5	4	1		安全には十分に配慮されている。継続して行っていたらと思います。	✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します 対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」などが考えられます
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 全体会議を通して、個人情報保護に関してや、運転業務や、配薬、入浴の業務に関しては法人独自で許可証制を導入して					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		おり安全確保に努めている。					
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている	4	4	2		訓練は大事。	✓ 「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 年間で訓練が計画されており、実施している。また、災害時の計画も作成されている。					
Ⅱ サービス提供等の評価							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
① 利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている	3	6	1		家族側も見守りカメラなどで様子を見ているので、何かの時に訪問などして確認していただいている安心感があります。	✓ 「家族等も含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します ✓ ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等も含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります
		[具体的な状況・取組内容] 在宅時には、家族様のいる時間、いない時間も含めて、確認しアセスメントを行っている。					
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている	1	9			介護と看護の連絡もうまくしていただけていると感じます。 ソフトの利用で共有に評価します。	✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます
		[具体的な状況・取組内容] 介護ソフトを使用し、介護、看護の共有を行っている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている	1	8	1		家族からの要望や利用者の様子などお互いの連絡がしっかりできていることで安心感があります。 よくできていると思います。	✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> モニタリングからの意見を発信したり、他でも家族さんからの意見を聞いて作成をしている。					
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている	3	7			利用者ができることを見つけて手伝いなどさせて頂いています。	✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します ✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ケア会議を行い、生活リハビリや自立支援を行うように計画している。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
							必要な視点であるといえます
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている		8	2		けがのリスクを考えて支援していただけています。 継続して行っていただけたらと思います。	✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です
[具体的な状況・取組内容] 事前に利用者さんの情報を確認するとともに、看護からも状態の確認、リスク管理を行う計画をしている。							
(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践							(2) 利用者等
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							① 継続した
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、	1	9			利用者の様子など細かく知らせていただいて家族から	✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	利用者等の状況変化を早期 に把握し、計画への適宜反 映が行われている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 利用者さんの状況に応じてプラン変更・ 更新をしている。				のプラン変更も検討しても らえている。 出来ていると評価します。	を評価します
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度 に偏らないよう、適時適切 に利用者宅を訪問すること で、家族等を含めた居宅で の生活状況の変化を継続的 に把握している	5	4	1		1 週間のリズムを作りなが ら、家での生活の支援をして もらえている。 利用者さんをみると満足感 が分かります。	✓ 「訪問による、家族等を含めた居 宅での生活状況の変化の継続的 な把握」という視点から、充足度 を評価します ✓ 訪問によるケアの提供は、家族等 を含めた居宅での生活状況を把 握するためにも重要です
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標 の達成状況等について、主	1	6			主治医との連携もうまくで きている。引き続き、多職種、	✓ 「利用者等の状況変化や目標の 達成状況等の事業所内外を含む

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> NS、薬局薬剤師さん、医師、福祉用具の方など情報共有をしている。				多機関と連携していただければと思います。	関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します
(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている	6	4			お互いの連絡がしっかりとできていると感じている。 異なる職種間の情報交換は大切。 よくできていると評価します。	✓ 「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に応じた柔軟な役割分担を行うことが重要です
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> お互い尊重し合いながら声を掛け合って業務を行っている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
20	○ 利用者等の状況について、 介護職と看護職が互いに情報 を共有し対応策を検討する など、両職種間の連携が 行われている	6	3	1		取り組みの努力を感じます。 今後も継続していただければ と思います。	✓ 「介護職と看護職の情報共有お よび対応策の検討」について、充 足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 毎月1回の会議や、申し送りなどで連携 をしている。					
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対し て、疾病予防・病状の予後予 測・心身の機能の維持回復 などの観点から、情報提供 や提案等を行っている	3	6		1	薬の管理をしっかりしてい ただけるので、安心出来てい る。 評価します。	✓ 「看護職の専門性を活かした、介 護職への情報提供や提案等」につ いて、充足度を評価します ✓ このような情報提供や提案等は、 看護職の専門性を活かした役割 の1つとして期待されます
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 利用者さんの変化に伴って、薬や病状の 共有など行っている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
(4)利用者等との情報及び意識の共有							(4)利用者等
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							① 利用者等
22	○ サービスの趣旨および特徴等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	2	5	3		サービスについての説明は分かりやすい。	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 尋ねられた時は分かる範囲で説明している。契約や、見学時などにも説明。また 2 か月に 1 回のケアラーの会も活用し説明している。					
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	1	9			工夫していただくことで、在宅生活を続けられている。評価します。	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 出来ることはしていただき、在宅で自立できるように支援している。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている		9	1		ケガをしたときも包帯の交換をしていただけた。	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 看護師を配置しているため、看護師より説明をしている。							
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族等）の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している	2	7	1		家族への連絡を密にして頂けている。 よくできていると思います。	✓ 「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します
<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 事前に利用者さんに確認をしたり、状態によってはご家族さんに連絡等で希望に添えるようにしている。							
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定	1	9			評価します。 そのときがきたら、宜しくお	✓ 「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができる	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ターミナル期になる前から少しずつ本人さん、家族さんの気持ちを確認している。				願います。	討と共有」について、充足度を評価します
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している	3	6	1		安心して看取りができればと思います。 より丁寧に対応を願います。	✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ターミナル期にはより細かく記録を残す。 また家族さんにも、心づもりをしていただくためにも説明はしている。					
2. 多機関・多職種との連携							
(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している	5	4	1		カンファレンスをしっかりしていただきました。 PT 的な面が少ない。	✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 退院・退所時には極力カンファレンスを					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		開いてもらうように依頼し、円滑な移行を心掛けている。					る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができている		8	2		安心が第一。努力を評価します。 主治医との連携も出来ている。 いま一度、緊急時の対応について連携しておきたい。	✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します ✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている	1	2	7		急変時は家族でも難しいです。連絡をしていただければ嬉しいです。 努力を評価します。	✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
(2) 多職種との連携体制の構築							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている	1	8	1		地域の中心であることが大切。広く意見を聞くこと。 今後共に続けて行ってほしいです。	✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します ✓ そのような取組をしたいことがない場合は「全くできていない」 ✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							① サービスの概要及び効果等の、

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
							地域に向けた積極的な情報の発信
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見るような方法での情報発信が、迅速に行われている	3	4	2	1	議事録が HP で見れることを知りました。	✓ 「誰でも見ることができる方法での情報発信」と「迅速な情報発信」の2つの視点から、充足度を評価します
<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 議事録を作成し、HP や事業所で発信をしている。							
33	○ サービスの概要や地域において果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている	4	5	1		学習会等にはお知らせが来れば参加させていただきます。 これからも続けてほしい。	✓ 「積極的な啓発活動」について、評価する項目です ✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地域説明会の実施」などの取組が考えられます。 ✓ 利用者や職員の確保のみを目的とした活動等は除きます
<u>[具体的な状況・取組内容]</u> サロンや学習会、相談会等、地域の方々とのつながりを大切にしている。							
(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮							(2) 医療ニ―
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							① 看護小規

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している		3		7		✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、[具体的な状況・取組内容]欄に「指定なし」と記入してください ✓ 「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施していない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の観点から、充足度を評価します
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○ 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている			6	4	介護士さんも届と練習すれば吸引できるはず	✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の観点から、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている		5	2	3	今後、対象の方がおられましたらご支援よろしくお願いたします。	✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 現在、対象者がいないのと、今までも対象の方がいてない。相談があれば積極的に対応したい。							
37	○ 「看取り支援」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	6	4			看取り支援まで行ってもらいたいと思っています。	✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 受入体制は整えており、以前は何度かあすならホームで看取りも行ったことがある。							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画							
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している	2	3	4	1	忙しいとは思いますが、勉強は続けて知識を深めて行ってほしいです。	✓ 「内容等の理解」について、その充足度を評価します ✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます ✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などがない場合は、「全くできていない」
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 理解している職員と、勉強中と答える職員とばらつきが出ました。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している	3	5		1	幅広いサービスを期待します。	✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します ✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます ✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」
<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 中学校区内エリアをメインに奈良市内の方へ幅広くサービスを提供している。							
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている	1	6	3		サロン活動での学習会も必要かもしれない。 積極的なあすならからの提案もあって良い。	✓ 「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必要となる保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対して提案していくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがな
<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 学習会や、相談会、サロン活動を行い、地域の方々と関わっている。							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
							い場合は、「全くできていない」
41	○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組等が行われている	3	6	1		よい取り組みでできるだけ参加をしていきたい。	✓ 「家族等や近隣住民に対する、介護力の引き出しや向上のための取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係者全員の介護力を最大限に高めることにより、在宅での療養生活を支えていくための環境を整えていくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」
[具体的な状況・取組内容]							
あすならホームで福祉学習会を開き、家族さんにご参加いただき、介護方法など家族さんにお伝えし、一緒に進めている。							

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
Ⅲ 結果評価				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている ②. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない <u>[具体的な状況・取組内容]</u> 計画作成し、見直しや評価を行っている。 目標が達成されている方もいる。	とても評価します。 目標達成のために試行錯誤してもらえれば嬉しいです。 引き続き目標達成にむけて支援していただけたらと思います。	✓ 「計画目標の達成」について、評価します
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている ②. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない <u>[具体的な状況・取組内容]</u> 主治医により指示の下、看護師が連携を行っている。	その時がきたらよろしくお願ひします。 任せられると感じています。	✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」について、評価します

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている ②. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない 5. 看取りの希望者はいない <u>[具体的な状況・取組内容]</u> 最期まで関わりを持たせてもらい、ご本人さんのケアや、ご家族さんへの声掛けなど安心していただけるようにしている。	とても評価します。 期待しています。 その時までよろしく願いします。 利用者も家族もそれを望んでいます。	✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します ✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます ✓ 在宅での看取りの希望者がいない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」